

「平成30年度 東京都がん予防・検診等実態調査」の結果について

調査目的

1 都民を対象とした調査（以下「都民調査」という。）

「東京都がん対策推進計画（第二次改定）」（以下「がん計画」という。）に基づき施策を展開するにあたり、都民のがん予防に関する意識やがん検診の受診状況等の実態を把握し、都におけるがん予防・検診、健康づくり事業の推進に資することを目的とする。

2 都内事業所・健康保険組合を対象とした調査（以下「職域調査」という。）

がん計画に基づき施策を展開するにあたり、都民の受診機会の多くを占める事業所及び健康保険組合におけるがん検診の実施状況やがん予防に向けた取組等の実態を把握し、都におけるがん予防・検診、健康づくり事業の推進に資することを目的とする。

調査概要

1 都民調査

- 調査対象：平成30年4月1日現在、都内に住所がある満20歳以上の男女
- 調査内容：がん検診の受診状況（受診機会、がん検診受診・未受診理由、検査方法等）、国が推奨するがん検診の認知度 等

2 職域調査

- 調査対象：平成30年4月1日現在都内に所在する事業所及び本部がある健康保険組合
- 調査内容：がん検診の実施状況、受診者を増やす取組、「職域におけるがん検診に関するマニュアル」の認知度、健康保持・増進の取組 等

回収状況

種別	標本数	回答者	回収率
都民調査	5,000人	2,700人	54.0%
職域調査	事業所	3,300所 675所	20.5%
	健保組合	100組合 64組合	64.0%

調査結果のポイント

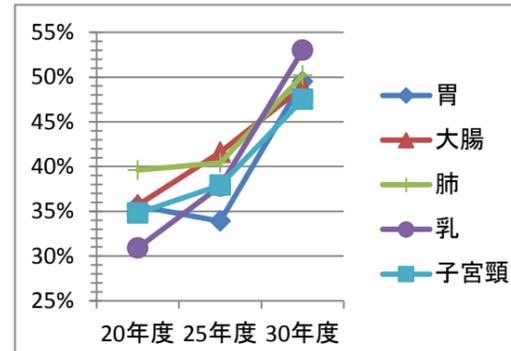
1 都民のがん検診の受診率

調査年度	胃	大腸	肺	乳	子宮頸
30年度	49.5%	48.9%	50.2%	53.0%	47.5%
25年度	33.9%	41.6%	40.4%	37.8%	37.9%
(参考)20年度	35.6%	35.7%	39.6%	30.9%	34.8%

○5がん全てにおいて、前回（H25）調査より大幅に上昇した。

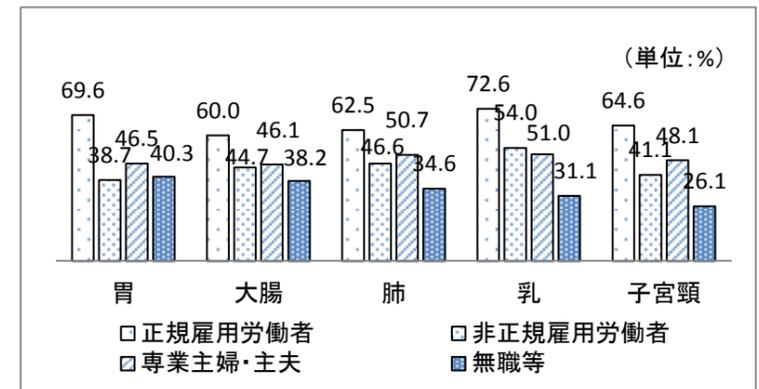
胃：+15.6° イト、大腸：+7.3° イト、肺：+9.8° イト、  
乳：+15.2° イト、子宮頸：+9.6° イト

○肺・乳において、調査開始（H20）以来初めて50%を超えた。



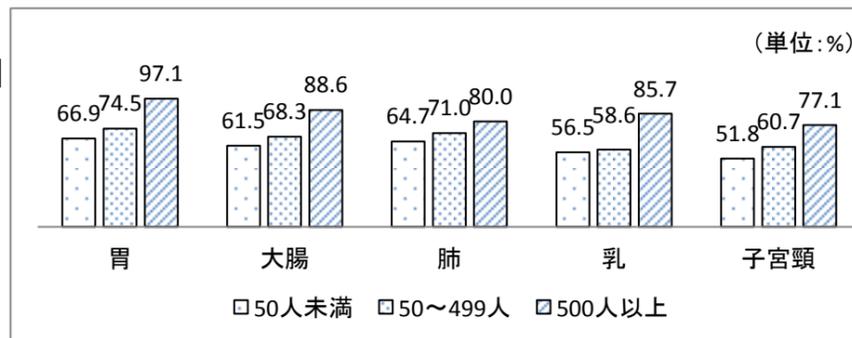
4 就業状況による都民のがん検診受診状況

- 正規雇用労働者の受診率は5がん全てにおいて60%を超えている。
- 正規雇用労働者以外の職業の受診率は、胃・大腸・子宮頸で全て5割を下回り、肺・乳で「専業主婦・主夫」が、乳で「非正規雇用労働者」が5割台前半となっている。



2 都内事業所のがん検診の実施率

- 従業員規模[50人未満][50~499人][500人以上]を比較すると、規模が小さくなるにつれて5がん全てにおいて実施率が減少する。
- 乳・子宮頸は乳の[500人以上]を除き、胃・大腸・肺と比較して実施率が低い。



3 都民のがん検診受診機会

- 胃・大腸・肺は「職場の健康診断での受診」、乳・子宮頸は「区市町村が実施するがん検診」での受診が最も多い。

がん種別	職場の健康診断	区市町村の検診	人間ドック等
胃	54.6	29.8	11.8
大腸	47.3	36.3	11.0
肺	58.3	34.6	16.3
乳	39.7	46.8	15.8
子宮頸	37.2	38.6	14.6

5 就労状況による都民のがん検診未受診理由

- がん検診を受診しなかった最大の理由の第一位は、正規雇用労働者では胃・大腸・肺・乳で「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから」、子宮頸で「どのような検査をするか知らないから」であった。
- 非正規雇用労働者でも胃・大腸・肺では正規雇用労働者と同様だが、乳で「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」、子宮頸で「検査に痛みや苦しさがあると思うから」であった。
- 無職者では胃・乳で「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」、大腸・子宮頸で「健康診断や検診の対象年齢ではないから」、肺で「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから」であった。
- 未受診理由により、有職者は職場での受診機会が重要であること、また継続受診の必要性や検査方法等がん検診の情報が十分周知されていないことが明らかになった。

就労状況別 第一位の理由

	正規	非正規	無職
胃	健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから
大腸	健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	健康診断や検診の対象年齢ではないから
肺	健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから
乳	健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから
子宮頸	どのような検査をするか知らないから	検査に痛みや苦しさがあると思うから	健康診断や検診の対象年齢ではないから

調査結果を活用した今後の施策展開

都におけるがん検診の受診促進や質の向上など、がんの予防及び早期発見に向け、既存の取組の強化を図るとともに新規の取組を実施していく。

がん検診の普及啓発

- 国指針に基づくがん検診に関する正しい知識の普及や都民のヘルスリテラシー（健康管理能力）向上のための取組の実施

がん検診の精度管理

- 区市町村が行う個別勧奨・再勧奨、精検受診勧奨、精検結果把握の取組への支援

がん検診の受診環境整備

- 区市町村検診における受診環境整備に向けた取組への支援
- 職域で実施するがん検診に対する支援策の検討